



## 地域ブロック情報



日本社会福祉学会には7つの地域ブロックがあり、それぞれに特徴的な活動が展開されています。今号では、中部地域ブロックおよび関西地域ブロックの活動についてご紹介いたします。

### 中部地域ブロックから

中部地域ブロック担当理事  
谷口 由希子(名古屋市立大学)

中部地域ブロックの主な活動は、①研究例会の開催、②機関誌『中部社会福祉学研究』の発行、③大学院生・若手研究者のための勉強会の開催の3つです。

研究例会は、毎年1回、春の研究例会として開催しています。ブロック内会員による自由研究発表のほか、大学院生・若手研究者のための勉強会や、その時どきのトピックスをテーマにしたシンポジウムを開催しています。2022年度は、4月16日にzoomを用いたオンライン方式によって開催いたしました。

2022年度の春の例会では、自由研究発表が10エントリーあり、3会場に分かれて報告および質疑応答が行われました。大学院生・若手研究者のための勉強会では、「査読の壁を乗り越える!～学術誌への論文投稿～」をテーマとして開催し、コメンテーターを川島ゆり子さん(日本福祉大学)が務めました。シンポジウムは、「コロナ禍での孤立・孤独・生きづらさと社会福祉実践」をテーマに行いました。近藤直子さん(日本福祉大学名誉教授)に「『公のおせっかい』によるつながりの創出」と題した基調講演を行っていただいた後、パネルディスカッションを行いました。パネリストには、鈴木美登里さん(NPO法人「オレンジの会」理事)から「コロナ禍でのひきこもりと8050問題」、冨田正美さん(元母子生活支援施設長、ハーレーサンタCLUB NAGOYA代表)から「コロナ禍での女性の孤立—DV支援の現場から—」、前山憲一さん(半田市社会福祉協議会事務局次長)から「コロナ禍での地域福祉活動—地域のつながりと希望を紡ぐ—」と題してそれぞれのご実践を報告いただきました。コーディネーターを宇都宮みのりさん(愛知県立大学教授)が務め、活発な議論の中で終えることができました。

中部地域ブロックでは、研究例会のシンポジウムを一般公開しています。社会福祉学に関心のある人や支援に携わっている実践者をはじめ、幅広く社会福祉学の魅力を知っていただけるよう中部地域ブロック幹事で力を合わせています。

なお、機関誌『中部社会福祉学研究』は、3月末に第13号を刊行しました。学会ウェブサイトの中  
部地域ブロックのページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

## 関西地域ブロックから

関西地域ブロック担当理事  
所 めぐみ(関西大学)

関西地域ブロックは、年次大会・総会(例年2月か3月)の開催、若手研究者・院生情報交換会の  
開催(年に3回程度)、機関誌『関西社会福祉研究』(年1回)の発行を主な研究活動として活動し  
ています。年に数回開催する理事会と理事会MLにより適宜検討や情報交換をし、会員のみなさまの  
ご協力によりこうした活動等について計画的に進めています。

### ○2022年度年次大会・総会

日程:2023年2月26日(日)

場所:同志社大学今出川キャンパス(良心館を予定)

現在のところ、対面での開催を予定しております。

午前中には自由研究発表を行います。

詳細につきましては、確定次第、日本社会福祉学会のホームページとメーリングリストでお知らせい  
たします。

### ○若手研究者院生情報交換会

昨年度、第50回の開催を記念して、本学会の年次大会として拡大的に開催しました。50回の内容  
はこちらをご覧ください。

[https://www.jssw.jp/wp-content/uploads/kansai\\_2021\\_young.pdf](https://www.jssw.jp/wp-content/uploads/kansai_2021_young.pdf)

各回の企画は、理事会メンバーを含む会員が担っています。このうち年に1回は、若手研究者・院生  
会員が企画を担当しています。以前は関西ブロック内の大学院に持ち回りのこの1回の企画を担っ  
ていただいていたのですが、最近、留学生・国際枠として、(元)留学生の若手研究者の方々による企  
画を年に1回実施することが定着しています。若手からベテランまで多様な会員の方々のご協力によ  
り活動が進められています。今年度も3回の開催を予定、準備を進めています。

第51回は、2022年11月26日(土)13時30分~16時00分から大阪公立大学杉本キャンパス  
(杉本図書館10階研究者交流室)で開催予定です。「これからの社会福祉研究を考えよう!」という  
テーマで、これまでの研究動向をふりかえり、参加者のみなさんとワークショップ形式で、これからの  
社会福祉研究のトレンドについて考えます。今回、久しぶりの対面実施となります。感染対策に十分に  
配慮したうえで行いますので、ふるってのご参加、お待ちしております。参加申し込み詳細は、学会ホ  
ームページ、会員向けMLでお知らせいたします。

○機関誌『関西社会福祉研究』

これまで8号まで発刊しています。毎年1回年度末の3月に刊行しています。紙媒体の冊子で、関西社会福祉学会・関西地域ブロック会員と、関西地域の福祉系学部・学科等をもつ大学に送付してきました。今後は日本社会福祉学会ホームページに電子媒体(PDF)も掲載する予定です。これにより、より多くの方に会員の研究成果をご覧いただくことが可能となります。

なお投稿論文の締め切りは、毎年8月の末日です。関西地域ブロック会員のみなさまのご投稿をお待ちしております。

よりよい活動に会員のみなさまとともにつなげていけるよう、今後も引き続き会員のみなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。